

# 霧島高校だより

鹿児島県立 霧島高等学校  
〒 899-6507  
鹿児島県霧島市牧園町宿窪田 330-5  
TEL (0995)-76-0039  
FAX (0995)-76-0040



## 機械科

## 総合学科

霧島高校ホームページにもアクセスして下さい

開校 2年目になりました。現在 1, 2年生のみの学校です。  
霧島高校について詳しく知っていただくため、「霧島高校だより」をお届けします。

霧島高校 検索

## 第 2 期生が入学し、ますます活気があふれています！

### 第 2 期生入学

#### 第 1 期生から新入生へのメッセージ

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。私たち 2 年生は霧島高校の伝統を少しずつ作り上げてきました。新入生の皆さんも霧島高校の第 2 期生として、より多くの伝統を築き上げていくために、一緒に頑張っていきましょう。もし高校生活に不安なことがあれば、遠慮なく私たち 2 年生に尋ねてください。きっと力になれると思います。これから 3 年間、自分の目標を見つけ、夢を実現できるように頑張ってください。

4月 7日(火)、第 2 期生が入学し、霧島高校は、生徒数が 2 倍になりました。第 2 期生が入学したことにより、学校行事、部活動などさまざまな面で、活気あふれる学校となりました。4月 8日(水)には、対面式を行い、霧島高校生となった第 2 期生は、高校生活の抱負を述べていました。



第 2 回入学式で校歌紹介をする第 1 期生 対面式で抱負を述べる第 2 期生

4月 14日(火)に行われた新入生に対する部活動紹介では、第 1 期生が各部の活動内容や魅力をパフォーマンスを交えながら熱心に勧誘をしていました。昨年まで、ほとんどの部が第 1 期生のみで活動していましたので、どの部も一人でも多くの後輩が入部することを切望しておりアピールに力が入っていました。

今年度からは、これまで部員数が足りなく大会に出場できなかった部や、練習も寂しく物足りなかった部も、2 期生が入部し活気あふれて元気のある部活動へと変わってきました。部活動とおして、体力や技術だけでなく、あいさつなどの礼儀作法やチャレンジ精神、そして集団活動による協調性を身につけて下さい。それが“自信”となって前向きな人間をつくります。



新入生部活動紹介の一場面：左から弓道部、美術部、女子バレーボール部

### 一日遠足（霧島中岳登山）

新入生の歓迎と親睦を目的とした一日遠足を 4月 28日(火)に実施しました。今年は霧島山系中岳（標高 1345 ㍎）登山。約 40 分の登山ですが、クラス毎に出発し、各自のペースでほとんどの生徒が山頂を踏むことができました。雲量ゼロ、快晴。絶好の登山日和でした。山頂でゆっくりと休憩し昼食後、各学級毎に記念写真を撮り全員下山しました。



岩場を越えらるともうすぐ山頂

高千穂峰を背景に学級写真

#### ここでも霧島高校生ボランティア精神発揮！

「ゴミ拾い隊」…この遠足できつそうに登山をしている本校生徒たちの中、清掃登山をしている本校生徒男女十数名を見かけました。生徒たちは「ゴミ拾い隊」と称し、自主的に登山道沿いのゴミを持参した袋に集めていました。中岳も喜んだことでしょう。

### 霧島高校生に期待すること

平成 21 年度新しく 16 人の先生方が赴任され、霧島高校は現在 37 人の教職員になりました。

#### 霧島高校に赴任するにあたって（地歴公民科 中村幸平 先生）

4月 1日、霧島高校に着任した折、最初に目に焼き付いたのがスクールモットーの「磨こう個性 拓こう未来を」の言葉でした。新設されて 2年目の本校が、今後、多くの卒業生を送り出し、地域から信頼される学校に形作られるためには、生徒、保護者、地域等の協力があっての事ですが、私たち教師の果たす役割も大変重要なものです。例えば、学校の特色を生かすために、生徒たち一人一人の進路実現を図ることをまず第一に考え、その過程で、日常からの学習指導や生活指導、マナー指導等の徹底が教師の果たすべき重要な役割だと実感しています。現在、100年に一度の不況といわれており、本県の就職状況も大変厳しい現状です。このような中でも、生徒たちの進路実現を成し遂げるために、今の子どもたちに足りないといわれている忍耐力や人間力等を、部活動指導や日々の活動の中でも身に付けさせることができるような教育をしていきたいです。

## 部活動日誌PICK-UP

バスケットボール部を紹介します。

新チームとしてスタートし、現在男子 11 人、女子 5 人の計 16 人で頑張っています。最近の対戦結果:

**南九州四県対抗バスケットボール選手権**

対城西高校戦 54-43 で勝利、対武岡台高

校戦 78-63 で勝利、対指宿商業戦 74-61

で勝利、対川内高校戦 42-118 で敗退。結果は**ベスト16**

**インターハイ県予選** 対岩川高校戦 116-33 で勝利。

対川薩清修館高校戦 74-77 で惜敗。



ナイスシュート!

## 部活動日誌

- 記念すべき公式戦初シュートを決められた!うれしかった。
- 先輩たちの男泣きに感動しました。
- 観客や審判も楽しませることのできるいい試合だった。
- どんなに苦しい試合でも最後まであきらめずにプレイしていた。
- ベンチから一生懸命応援した。先輩たちの悔しさを自分たちが晴らしたい。
- 今日は勝つことができなくて、いらいらしていた。なかなかパスをもらいに来てくれなかった。練習が終わってゆっくりと考えてみたら、コミュニケーションが足りなかったんじゃないかなと思った。現に先輩とはあまり話をしていなかった。これからはもっと会話をしてコミュニケーションを深めていきたい。

顧問: 濱田智恵美先生から…いいことも悪いことも黙ってはいは駄目、いいプレーができたとき「ナイスシュート」心からほめることが大切。チームプレーに求められるのはコミュニケーション能力なのです!

## 出前授業・講演会

霧島高校では外部講師の先生による出前授業や講演会が数多く実施されます。「総合的な学習の時間」(2年)では、6月5日(金)岩橋恵子先生(志学館大学教授)による出前授業が行われました。「私たちはなぜ学ぶのか～生涯学習入門～」の授業のなかで、学問は人間の本質に根ざすものであり、学習なしに人間の発達も人間の発達もありえない。また、学習は、私たちが”自分の歴史(人生)”と”自分の生きる社会”を創る主人公になるためのものである。と教えていただきました。そして、今日の授業を踏まえて、なぜ学ぶのかを各自で考えてまとめなさいと宿題も出されました。



出前授業(岩橋教授)

(生徒感想から) 「何のために勉強するのか」考えた事もなかった。将来の夢のために勉強してただけだったので、勉強に面白みが持てませんでした。これからは、勉強すれば、「自分に幸せが来るのではないかと、思えるようになった。これから、自分の為だけでなく、父や母のため、社会の一員としての義務などのことを、胸に秘めて頑張っていきたいです。

6月9日(火)スクールカウンセラーの木下馨子先生に「心の健康」の講話をしていただきました。自己表現の仕方や、よりよい人間関係づくりのためのアサーション(さわやかな自己表現)を学習する内容でした。寸劇を織り交ぜながらの講演会でした。

(生徒感想から) 毎日の生活の中で、人とできるだけたくさん話をすることは大切なことだと思いました。人と話をするときは、相手の気持ちをしっかり考えることも大切だと思いました。仲間を大切に、たくさんの友達を作っていきます。

## 特色ある授業の紹介(伝統文化)

霧島高校には、多くの特色ある授業があります。今回は学校設定科目「伝統文化」を紹介します。教科「伝統文化」は日本の伝統文化の継承と豊かな感性や心をはぐくみ、多様な文化を尊重できる資質を育成することを目的として設定された科目です。自然に対する繊細な心、細やかな礼儀・作法を大切にしながら日本の伝統的文化の茶道・華道を学びます。総合学科の生活科学系列の科目選択群の一つで、



茶道の授業風景



華道の授業風景

生徒は華道・茶道の両方をこの授業の中で学習します。2・3年をとおして4単位の授業になります。華道が井上明子先生、茶道が岩下美智子先生による質の高い指導で、毎週水曜日の5・6校時に授業をしています。生け花の生徒作品は、事務室前、校長室、普通科職員室前に毎週展示され、生徒の作品をとおして心の豊かさ、優しさ、静かな安らぎを感じることができます。ぜひ皆さんも鑑賞して下さい。



緊張の連続です



事務室前に展示



校長室に展示

## 全員合格(機械科1年)

6月19日(金)に実施された計算技術検定(全国工業高等学校長協会)で機械科1年生全員40人が3級に合格しました。

生徒の声…●合格できて本当にうれしい。●プレッシャーがかなりありましたが達成感を得ることができました。●計算機のボタン操作が難しかったが何とかできるようになり自信ができました。●多くの資格や検定の取得にチャレンジしたいです。

担任で指導者の中村公一先生から…やればやっただけの成果は出ます。資格を取るためにはモチベーションの持続が必要です。決してあきらめないこと。みんな良くやっと思えます。

## 高校生ものづくりコンテスト優秀賞



旋盤加工に挑む高橋君

高校生ものづくりコンテスト鹿児島大会(旋盤部門)(6月13日)に本校から機械科2年高橋宏輔君が出場しました。高橋君を含む上位3人が満点という激戦となり、細かい操作方法における減点方式で惜しくも3位(優秀賞)という結果になりました。高橋君は指導者の大山良一先生から徹底した指導を受け、練習を繰り返し、本番に臨みました。ものづくりのスペシャリストを目指し技術の向上を今後も続けることを期待します。